

第143回 創薬科学セミナー



GTR/CIBoG seminar



日時: 2021年12月16日(木曜日) 16:00~17:30

場所: 創薬科学研究館2階 講義室 オンラインも並行

岩波 礼将 先生

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター
・特任准教授

小型魚類疾患モデルによる免疫システムの理解

小型魚類は遺伝子操作や発生観察、薬剤スクリーニングが容易であることなどの利点により、脊椎動物共通の生命現象を理解する上でマウスなどを補うモデル動物として確立されています。岩波先生はゼブラフィッシュおよびメダカを用いて免疫不全モデルを作成し、リンパ球発生の分子機構の研究に従事されてきました。

今回は、RNA splicingおよびDNAメチル化のリンパ球発生への関与について概説して頂きます。さらに、メダカ野生集団から樹立されたalbinoの分子メカニズムについてもお話し頂きます。Refs: Nat. Commun., 11, 4505 (2020), iScience, 23, 101260 (2020), Cell Rep. 17, 2259 (2016)

このセミナーは創薬科学研究科・先端薬科学特論の単位認定となります。



オンラインを希望される方は、12月13日(月)12:00までに左側のQRコードまたは右側のリンクよりご登録下さい。セミナー前日までにZoom URLをご連絡します。

PDFファイルの方は
ここをクリックして
登録して下さい

連絡先: 細胞生化学分野 人見清隆 hitomi@ps.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻
Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University